

日中友好のしんぶん

大阪と中国

●編集・発行

特定非営利活動法人

大阪府日本中国友好協会

〒543- 大阪市天王寺区大道5-4-6
0052 大阪スカウト会館2F

TEL06(6770)0080 FAX06(6770)0707

●発行日 2013年1月1日 No.228

●定価 200円

宛先：大阪府日中(jcf@mail.infomart.or.jp)

<http://www.kaigisho.com/jcf>

題字は王个簃氏

あけましておめでとうございます



癸巳

李庚書画

京都造形芸術大学教授

ごあいさつ



今年も 前進のための努力を

会 長
谷 井 昭 雄

皆様にはお元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日中国交正常化40周年を意義あらしめ、次へ、より友好発展への活動をと考えておりましたが、両国間の関係は厳しい状況となり、その影響は、政治外交に留まらず、経済・文化・人事交流にまで及び、誠に残念なことです。

このような情勢では、民間団体である友好協会の役割は重要であり、40年前の国交回復が民間外交から始まったことを考えると「民を以て官を促す」努力も必要です。

大阪府日中友好協会は、時代の変化と共に、組織の強化が必要です。大阪府下の14の地区協会とより密接な関係を深め、各地区協会の特色ある独自の活動と共に、大阪全体としてのより幅広い活動を行い、友好交流の成果を高めて行きたいと考えます。同時に、一昨年から行って参りました大阪府日中友好協会としての改革

一、個人会員に加え、企業会員の増強を通じ、より強い組織づくり

一、財務体質の強化で会員に魅力ある行事を積極的に行う
一、信頼され、活動する本部体制づくりも、ようやく軌道に乗りつつあります。引きつづき今年も前進のための努力をしていきます。

昨年は関西の華僑総会や留学生の皆さんとの交流を深める活動を積極的にすすめました。「中秋明月祭」は主催団体の一つとして参加し、また、各地区協会の参加を得て「歌でつなぐ日中友好の架け橋」を開催しましたが十分な成果を得たものと思います。

本年は引きつづき厳しい環境が続くものと思われませんが、国の主権を堅持しながら、両国政府のすぐれた叡智と誠意ある対話を通じ、将来に亘る大局的な判断で一日も早い回復を期待します。

大阪府日中友好協会も、日中両国が友好関係を取り戻し、互惠発展を通じ、アジア、そして世界の平和発展につながる事を念じ、活動して参りたいと考えます。

皆様のご理解と、より積極的なご参加をお願いします。

謹
賀
新
年

<p>大阪華僑総会</p> <p>会 長 曾 昇 龍 理 監 事 一 同</p> <p>大阪市西区靱本町三丁目九番十八号 電話 (〇六) 六四四八一〇五四一</p>	<p>一般社団法人日中経済貿易センター</p> <p>名 誉 会 長 谷 井 昭 雄 代 表 理 事 会 長 村 山 敦 雄 代 表 理 事 理 事 長 青 木 俊 一 郎</p> <p>〒 541-0056 大阪市中央区久太郎町四一―三 大阪センタービル2F TEL 06-4704-2511</p>	<p>大阪市労働組合連合会</p> <p>執行委員長 上 谷 高 正</p>	<p>日本篆刻家協会</p>	<p>NPO法人 大阪太極拳協会</p> <p>会 長 高 田 雅 明 理 事 長 川 崎 雅 雄</p> <p>〒 555-0012 大阪市西淀川区御幣島三―四―二四 大阪武術太極拳トレーニングセンター 電話 (〇六) 六四七八―三〇〇三</p>
--	---	--	----------------	--

2013年も 友好の灯 絶やすことなく

大阪府知事

松井 一郎



新年あけましておめでとうございます。大阪府日本中国友好協会の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日中国交正常化40周年、また日中国民友好交流年という記念すべき年であり、両国の友好関係をさらに進展させるため日中双方で様々な交流行事が行われました。

私自身も昨年2月、知事に就任後初めての海外出張で、大阪府の友好都市である中国・上海市を訪問しました。上海では、上海市長と今後の交流などについて意見交換するとともに、現地メディアに大阪の観光魅力を発信するプロモーションや大阪と上海企業との商談会を行いました。こうした中国との交流を通じ、大阪を含め日本と中国が本当に親密な関係にあるということを実感しました。

貴協会におかれましては、長年にわたり大阪と中国の相互理解、相互信頼のため青少年交流など多くの交流行事を行われ、良好な日中関係の構築にご尽力してられました。これまでのご活動に心より敬意と感謝の意を表します。

日本と中国との関係において、貴協会が取組まれている地域レベルや住民レベルの交流は、相互理解や日中友好にとって大変意義深いものであります。また、両国間のこれまでの友好関係を発展させ、さらに強固なものとしていくためには、次代を担う若い世代の交流は不可欠であり、今後、貴協会の担う役割はますます重要になっていくことと存じます。

大阪府としましても、友好都市である上海市をはじめ、これまで培ってきた都市や人々との友好関係をさらに発展させていきたいと考えております。皆様には、引き続きお力添えくださいますようお願い申し上げます。

結びに、大阪府日本中国友好協会の今後ますますのご発展と本年が会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げます。

大阪市長

橋下 徹



皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜び申しあげます。

大阪府日本中国友好協会が、長年にわたり日中両

<p>大阪卓球協会</p> <p>会長 江崎勝久</p>	<p>大阪府バドミントン協会</p> <p>会長 三宅祐司</p>	<p> ZENJANREN</p> <p>〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-27 13F</p> <p>TEL 06-6161-1101</p> <p>FAX 06-6110-5762</p> <p>木下裕章</p> <p>全国麻雀業組合総連合会 会長</p> <p>大阪麻雀連合会 理事長</p>	<p></p> <p>社団法人 大阪府鍼灸師会</p> <p>〒530-0037 大阪市北区松ヶ枝町六-16</p> <p>電話 (06) 6351-4803</p>	<p>(公社) 日中友好協会 理事</p> <p>NPO 新世紀日中協会 副会長</p> <p>佐藤洋一</p>
------------------------------	-----------------------------------	---	---	--

国の友好交流と相互理解の進展に寄与する各種事業を積極的に推進され、今日まで大きな成果をあげておられることは誠に意義深く、皆様方の熱意とご尽力に深く敬意を表します。

昨年は、日中国交正常化40周年の記念すべき年でありましたが、日中情勢の影響を受けて、一部自治体交流、市民交流においても影響があったことは誠に残念に思います。

しかし、大阪市では、このような状況の中で、中国各都市からの訪問団の受入や、逆に中国を訪問し、経済・文化・観光・環境等の分野で、可能な限り交流を深めて参りました。

4月には、長年にわたり中日関係の発展にご尽力され、中国日本友好協会会長に就任された唐家璇氏を府市でお迎えし、それまでより親交のあった唐会長との絆、同協会との友好関係を更に強固なものとすることができました。

さらに9月には、貴協会が主催団体に参加されている「第4回中秋明月祭」が史跡難波宮跡で開催され、日中双方が協力してお祭りを盛り上げることができました。大阪市民が中国の文化に親しみ、日中友好の輪を広げるとともに、東北各県のブースも出展され、東日本大震災の復興支援としても、力強いメッセージが発信されたものと考えております。

先ほど述べましたように、昨年は、さまざまな情勢の変化があった1年でしたが、このような時期だからこそ、都市と都市、市民と市民がこれまで以上に緊密に連携し、信頼関係を構築することが大切であると感じています。

新しい年は、都市や市民が中心となって、日本・大阪と中国の交流が幅広い分野で一段と進み、相互理解・友好関係が深まるとともに、両国における経済の振興、活性化につながっていくことを期待しております。

最後に、大阪府日本中国友好協会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。



新年を迎えるに当たり、中国駐大阪総領事館を代表し、谷井昭雄会長をはじめ、大阪府日中友好協会の皆様に心よりお慶び申し上げます。

2012年は中日国交正常化40周年でした。40年来、中日両国各界の努力を通じて、諸分野における交流と協力は目覚ましい発展を遂げてきました。40周年という節目の年を契機として、中日両国の友好交流と互惠協力関係が更に増進すると両国で幅広く期待されていました。双方は「国民交流友好年」をテーマに、700近くの記念行事を計画し逐次に展開しました。また人民元と円の直接取引きの開始、オープンスカイ協定の調印、第7回中日省エネ・環境保護フォーラムの開催といったような交流と協力関係も新たな

<p>パナソニック株式会社</p> <p>〒571-8501 大阪府門真市大字門真一〇〇六 電話 〇六・六九〇八・二二二一</p>	<p>丸山物流株式会社</p> <p>MARUYAMA</p> <p>取締役会長 小田 眞弘 取締役社長 中尾 武司</p> <p>〒552-0007 大阪府港区弁天6丁目2番8号 Tel 06(6576)6020(代)</p> <p>物流のことなら</p>	<p>レンゴー株式会社</p> <p>代表取締役社長 大坪 清</p> <p>〒530-0005 大阪府北区中之島二丁目一七 中之島セントラルタワー TEL (〇六)六二二二二二二二 FAX (〇六)四七〇六一九九〇八</p>	<p>モビリグランド</p> <p>家具・インテリア雑貨</p> <p>代表取締役 藤尾 光</p> <p>・池田市満寿美町 ・西宮阪急三階中央 http://www.masumi.co.jp</p>	<p>烟台汉都金属制造有限公司(山東省)</p> <p>株式会社 ダイドーハント</p> <p>代表取締役 肌勢 勝彦</p> <p>大阪府中央区西心斎橋一丁目一五 アーバンビルディング心斎橋1F TEL (〇六)六二二七一一三四七五</p>
--	--	--	---	--

な進展が見られています。

このような良好な中日関係は日本政府の誤った行動により、国交正常化以来最も厳しい局面に陥っています。両国関係の発展のために長年に亘って尽力された方々にとって心が痛むことだろうと察しております。

大阪府日中友好協会は成立して60年以上の歴史があり、今迄中日国交正常化、中日両国関係の発展のために積極的な貢献をなされました。今年も谷井会長のご指導の下、着実に組織の拡大と活性化が進められていると伺っており、非常に有意義な試みであると思います。これから大阪府日中友好協会は「民をもって官を促す」という伝統を踏まえ、中日関係が一日も早く正常な発展軌道に戻るため新たな貢献をなされることを願っております。

結びに、大阪府日中友好協会の益々のご発展と会員の皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げ、新年の御挨拶と致します。

日中経済貿易センター
代表理事会長

村山 敦



2013年大阪府日中友好協会会員の皆様に心より新年のお慶びを申し上げます。

昨年度は尖閣島問題で反日デモが発生し一部の日

系企業が工場及び店頭の破壊、略奪、放火の被害を受けるに至りました。また合弁製品も含む日本製品の不買運動にまで及び、正常な企業活動を行なうことが困難な状況になってしまいました。

国交正常化40周年のお祝い行事も前半は予定通り実施できましたが、後半は殆どの計画がキャンセルまたは延期されてしまいました。

しかし中国は改革開放政策の進展に伴い高度経済成長を遂げ、経済大国として世界経済の2位、日本は3位を占めております。

この両国が経済貿易の相互依存関係を生かし、活力に富む新興国の多いアジア経済の中核となってその発展を牽引していかねばなりません。

麻痺状態に陥っている政治関係も両国政府の指導者層が一新され、すれ違い現象を起こしている問題を両国の関係者が戦略的互惠関係に立ち戻り、誠意と忍耐と信頼を以って話し合いを行なうことができれば、歩み寄りができるものと信じます。

四十年前、周恩来総理は「経済が先行して、民間が政府を促す」と述べられました。

本年は民間交流をより積極的に行なうために、大阪府日中友好協会が勇気と希望を持って、様々な分野で民間ベースでの相互の絆を深められることを念願いたします。

私ども日中経済貿易センターも会員の中国事業が種々の難関を克服されるためのお手伝いを粘り強く進めてまいる所存ですので、引き続きよろしくご指

西日本貿易株式会社

本社 〒541-0045 大阪市中央区道修町四丁目四一〇
KDX 小林道修町ビル八階
電話 (〇六) 六二〇三二一五七三(代)

自動車部品輸出入 ジャパンパーツサービス(株)

代表取締役 石田 修
営業本部長 福岡 浩之
〒541-0053 大阪市中央区本町二丁目三番九号
JPS本町ビルディング七階
TEL (〇六) 六二五九三六八 FAX (〇六) 六二五九三六九
E-MAIL: info@jps-osaka.co.jp

日根野公認会計士事務所

公認会計士 日根野 文三
税理士
〒540-0024 大阪市中央区南新町二丁目三二七
塚本ビル七階
TEL (〇六) 六九四二一八八
FAX (〇六) 六九四二一三七

学校法人天満学園

太成学院大学
太成学院大学高等学校
太成学院大学中学校
太成学院天満幼稚園
太成学院大学歯科衛生専門学校
理事長 足立 裕亮
〒587-8555 大阪府堺市美原区平尾一〇六〇番一
電話 (〇七二) 三六三三六三三
<http://www.tgu.ac.jp>

株式会社 日中語学センター

中国語を学ぶ、大阪中国語学院
日本語を学ぶ、日中語学専門学院を運営しています。
「南森町駅」すぐ
学院長 青木俊一郎
代表取締役 大藪 二朗
TEL 06-6353-0671 URL <http://www.jcic.jp/>

導ご支援いただきますようお願い申し上げます。

大阪府日中友好協会の益々のご隆盛と、会員の皆様お一人お一人のご健勝を祈念して、新年のご挨拶といたします。



大阪華僑総会
会長

曾 昇 龍

2013年、新年明けましておめでとうございます。

大阪華僑総会を代表しまして、谷井昭雄会長をはじめとするNPO大阪府日中友好協会の皆様に心からお喜びの言葉とお礼の言葉を贈ります。

昨年は中国政府と日本政府が国交を正常化してから40周年にあたる年でしたが、両国には困難な課題がまだまだ存在することを気付かせる一年でもありました。

貴協会におかれましては、60数年来いつも創意にみちた友好交流事業を展開されておられ、大勢の日本人と中国人から歓迎を受けておられます。

私たち大阪華僑総会は昨年には貴協会と共同で、8月に「友好記念講演会」9月10日に「大阪城公園友好石獅子（狛犬）前記念植樹式」、9月15、16日には難波宮で「第4回中秋明月祭大阪2012」を開催させていただき、大阪における両国国民間の友好交

流を推し進め、市民間の相互理解を促進させることができました。私たち在外華僑にとりましては、暮らしている国の国民、地域市民との友好関係、相互理解が不可欠です。私たちは微力ですが自分たちの力でこれまで友好交流活動を行ってきました。

昨年貴協会と共同で活動させていただく中で、私たち大阪華僑総会は貴協会が大阪の地で本当に中国と日本の友好交流に大きな影響を持って活動されていることをあらためて実感させられました。上記3事業とも貴協会の参加がなければあのように盛大に開催することは難しかったと思います。

とりわけ大阪城公園における記念植樹におきまして、しだれ桜の木1本、百日紅の木3本を植樹し、「中国と日本の平和と友好を願って」と題して、大阪華僑総会とNPO大阪府日中友好協会の名前を刻んだ石碑を、中国・明代の石獅子が置かれた広場に設置しましたことは、現代の中国と大阪の友好の証であると同時に私たち大阪華僑総会と貴協会との友好の証でもあると思います。

その植樹記念式典において来賓の方からいただいた「記念植樹した友好の樹から、友好の花が咲くことを願います」という祝辞に私たちの思いが全部含まれています。

新春にあたり、引き続き私たち大阪華僑総会とご厚誼、ご厚情をお願いさせていただきますと同時に、貴協会のますますのご活躍と貴会員の皆様のご健勝を祈念いたします。

<p>株式会社 ロイヤルホテル</p> <p>代表取締役社長 川崎 亨</p> <p>〒530-0005 大阪市北区中之島五丁目三十一番六 電話(〇六)六四四八一一二二</p>	<p>ホテルニューオータニ大阪</p> <p>総支配人 崎山 喜代志</p> <p>大阪市中央区城見一丁目四一</p>	<p>FUJITA KANKO</p> <p>藤田観光株式会社</p> <p>太閤園</p> <p>大阪市都島区網島町9ノ10 JR東西線大阪城北詰駅すぐ</p>	<p>中国ならANA</p> <p>関西国際空港から 6都市へネットワーク</p> <p>●就航都市 北京・上海・大連・青島 杭州・香港</p> <p>ANA</p> <p>ご予約お問い合わせは ゼンニクワ 0570-029-333 (全国一律料金)</p>	<p>謹んで新年のご挨拶を申し上げます</p> <p>中国国家観光局(大阪)</p> <p>鄭保壘 葛 燕 阪谷美由紀 劉 曉婉</p> <p>TEL: 〇六一六六三五一三二八〇 FAX: 〇六一六六三五一三二八一</p> <p>http://www.cnta-osaka.jp</p>
---	---	---	---	--

NPO法人大阪府日中友好協会
副会長・理事長

林 昭 嘉



新年明けましておめでとうございます。

会員みなさんには、ご健勝ですがすがしく新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

2013年は、われわれ意識改革の上での日中友好交流の一段と積極的な行動が重要ではないかと考えます。あまりにも不甲斐ない外交関係に嘆いているよりも、世代交代の替わる如く、中国政府も、日本政府も、新しい政権ならびに国家最高首脳の交代によって、新たな外交面での厳しい戦いが予想できると思われまます。

われわれ民の組織が、今までより強固な結束をもとに、一日も早い友好交流の現実を取り戻したい。

昨年、国交正常化40周年の記念すべき佳き年に、誠に残念なことでありますが、嘆いていても解決はしない問題であります。われわれ民の組織が単なる友好交流だけでなく、日本と中国の経済が一体性を増すなかで、反日感情の高まりが、中国自体の生産や設備投資の伸びが考えられるどころか、減少傾向にあることも見逃せないもので、日本と中国経済の相互依存関係がくずれつつあるともいえます。

このような現実には、景気減速とつながり、反日デモを背景とする販売不振等が日本の企業業績を大

きく圧迫している「中国リスク」が今大きく重荷になっていることが現状であります。

中国政府はこれまで「井戸を掘った人を忘れない」として、自国の発展に貢献してきた外資企業を重視されてきたが、その成功方程式も現実には崩れたといえるでしょう。

これからのわれわれの行動はどうあるべきか。日中友好の各都市間の交流は、何等問題ないような状況で、各交流計画が大きな変化はない。

NPO大阪府日中友好協会は、傘下地区協会(14協会)とも連携をより密にして、事業成果を支援し合うことによって、より大きな成果を上げるようにしたい。加えて、関西ブロック(2府4県)の各協会とも協力し合う体制を強めたく考えています。

本年は特に会員みなさんの積極的なご提言なり、協会同士の交流も更に深めながら、所期の目的を遂行したく念じています。

よろしくご支援、ご協力の程お願い申し上げます。ご挨拶といたします。

中国料理
錦城閣

会長 潘士義

株式会社 徐園

代表取締役社長 徐東生
代表取締役副社長 徐秀生

大阪市西区江戸堀一丁目一五番三〇号
電話 (〇六) 六四四八一五二六三(代)

40周年
料中
理華
楓林閣

阿倍野店・天王寺駅すぐ・アポロビル9階
お一人のお食事より、400名の大宴会まで。大小個室完備

TEL: 061664911055

Culture & Communication

株式会社
国際印刷出版研究所

〒551-0002 大阪市大正区三軒家東
三丁目十一番三四号
TEL 〇六(六五五二)六八五四
FAX 〇六(六五五二)〇二八八

中国が近くなる雑誌「人民中国」
あなたと中国との毎月の出会い
●リアルな情報 ●話題のカラーグラフィック
●多彩なよみもの ●北京発行の日本語雑誌
年間購読料(消費税5%・送料共) 一年・四八〇〇円
ご購入をおすすめします。

きびしい時こそ 地区協会の底力を

「西村真琴と魯迅そして日本の友人達」展の開催に再度挑戦

大阪府日中友好協会 副会長
豊中市日本中国友好協会

会長 田中 潤治



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

尖閣問題が、日中間の民間交流に悪影響が及ばないことを密かに期待しておりましたにも拘わらず残念ながら展示会開催延期の告知状が、上海魯迅記念館館長から11月3日に送信され、それを受信、初めて些細な民間の交流にまで影響が及んでいることを確認することになりました。この展示会は昨年12月16日から一週間、大阪府日中友好協会とその傘下の池田、豊中、吹田、大阪三島、高槻の各市日中友好協会が主催団体となり、魯迅記念館との綿密な計画の下、西村真琴と魯迅そして日本の友人達の資料の収集から展示資料の作成、シンポジウムに参加頂く魯迅そして西村真琴のお孫さん達参加の確認、そしてパネラーとして参加の魯迅研究者を決め、会場の設営も終え、中華人民共和国駐大阪総領事館を始めとして大阪府、豊中市その他市関係機関の後援承諾証を受けて全ての準備を整へ開催寸前の告知でした。

一時は愕然となり、残念の一言では片付けられない心境となりましたが、その後送付されてまいりました中華人民共和国國務院報道弁公室編集発行のパンフ（釣魚島は中国固有の領土である）を熟読させて頂き、中国政府の考え方は理解できました。そして、少し平静を取り戻し分析すれば、今や両国人民の大部分は戦後生まれであり、当時の事情に乏しく、歴史的背景を知らない多くの人民にとっては、双方の政府の主張を正しく理解することが難しいことから政府間の対立を生み出しているとの思いを強く持ちました。

日本政府が買収した尖閣諸島の日本人一人の分担額は200円の価値しかありません。

領有権を争うより、中日双方でこの島に眠るあらゆる資源の活用を模索し、より価値を生み出す島にすべく速やかに話し合いを行い、平等に利益を得ることが平和に繋がり国民の利益となることと思います。

中国共産党の新たな政治局常務員7人よる体制が始動し、日本の政権も新しく変わりましたが、日本と中国の関係はなお厳しい状況が続くと懸念されています。私達日中友好協会は、智恵を絞り問題の解決に日中の両国民が本音で語り合い相互の理解が得られる交流の場を作り、共通の理解と情報を持ち続け友好関係を維持発展させる責務があります。

魯迅が西村真琴に送りました詩（苦難を渡り尽くせば兄弟あり、相逢うて一笑すれば恩讐は減ぶ）をもう一度噛み締め、日中の苦難時代に日中友好に尽くした偉人達の功績を学び、広く理解を深めるためにも“西村真琴と魯迅そして日本友人達”展の開催に再度挑戦します。皆様のご支援ご協力をお願いします。

また一から再構築!?

池田市日本中国友好協会

会長 倉田 薫



あけましておめでとうございます。昨年の流行語大賞になりましたかどうか(?)「近いうちに」の約束に基づいて行われた師走の解散総選挙も終わり、日本・韓国そして中国と新しい指導者のもとで迎えた2013年のお正月、皆様にはご健勝にてお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

さて、昨年は東京都による尖閣諸島の買収宣言、そして政府による国有化により再燃した日中両国間の領土問題は予想をはるかに上回る残念な事態となり、極度の緊張関係の中で越年したことは誠に残念なことでした。

そのような中ではありましたが、池田市日中友好協会としては民間ベースでの友好交流事業を継続すべく、年末から年始にかけて恒例の蘇州市寒山寺の除夜の鐘イベントに私と藤尾名誉会長はじめ約10名で参加して参りました。蘇州市では今まで以上に温かい歓迎をしていただき、国と国の関係は別として、人と人との関係、友情は国境を越えて永遠に続くも

のであることを改めて確認して参りました。

とは言うものの、日本と中国の国と国との関係についても一日も早く正常化することが両国の経済、環境、福祉等々幅広い範囲での発展、成長のためには必要なことです。私たち池田市日中友好協会としてはまずは私たちの手でできることから、すなわち文化・芸術を中心とした民間交流を柱に日本と中国の関係を「一から再構築」いや「今までの友情を礎に再構築」すべく頑張っまいると思っています。

日中両国の平和、発展を願う仲間のみなさん、本年も心をついて、ともどもに頑張らしましょう。本年もよろしくお祈りします。

友好交流の継続を目指して

八尾市日本中国友好協会
会長 田中 順治



新年あけましておめでとうございます。

昨年は日中国交正常化40周年の記念すべき年でありましたが、残念ながら国家レベルでは「尖閣問題」を巡って両国間の交流が頓挫するという残念な状況が続いています。

谷井会長のお言葉にありますように、両国の誠意ある対話を通じ一日も早い関係修復を期待するものであります。

しかしながら、民間レベルでの友好的な交流はなら変わっていないと確信しております。

当協会といたしましても、昨年8月に北京市に於いて開催された「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」へ、八尾市選手団が参加された際、団長とし



全ての試合を終えた八尾市—嘉定区チームの選手・団員

て当協会の岡田副会長を派遣し、姉妹都市である上海市嘉定区の選手団の皆様との交流・懇親を深めてまいりました。

同大会では、「八尾市・嘉定区」日中双方の選手の皆さんの活躍の結果、3位という好成績を収めることができました。

大会終了後、八尾市選手団の皆さんは、上海市嘉定区を訪問し熱烈な歓迎を受けられ、友好交流26年の歴史を体感されました。

この経験は、次の世代を担う若者達にとって良い思い出となったことでしょう。これを契機に交流の輪を広げていただき、友好関係を継続してもらいたいと熱望するところでございます。

本年は、国家レベルにおいても友好的な関係が回復し、日中両国の円満な交流が再開されることを祈念するところでございますが、当協会といたしましても、様々な分野において積極的に交流活動を推進する所存でございますので、各関係諸団体各位におかれましては、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

今こそ民間団体ならではの 交流の構築を

堺日本中国友好協会
会長 曾我部篤爾



新年の幕開けに際し、皆様方のご幸運をお祈りいたします。

中国からの年賀状は大変豪華で驚かされることが多いのですが、今年は届くかどうか懸念しながら新年を迎えるというのは、まことに残念なことです。

政治情勢と民間友好交流とは別物であると唱えても、そのことを素直には表せない社会体制と国民感情があります。それは中国だけの話ではありません。日本だってそのような傾向が強まりつつあることを感じざるを得ません。

堺日中友好協会は、今年創立三十周年に当たります。堺市と中国・連雲港市との友好都市提携も三十周年の節目です。これまで節目の年には両市が友好交流団を派遣し合い、祝賀行事を催してきましたが、現

下の情勢ではその見通しも立たず、「こんな時期に祝賀行事なんて」という声も聞こえてきます。

堺日中友好協会としては、友好都市提携関係の推移を注視しつつも、独自に協会創立三十周年事業の準備を進めたいと思っています。そして、今こそ民間国際交流団体として真の日中友好関係の構築を模索したいと思います。

日中両国民の信頼関係構築は容易ではありませんが、不可能ではありません。多くの国民はそれを願っていると信じています。

日中友好関係の進展が両国の繁栄のために不可欠であることは間違いありませんから。

築こう民間友好交流で 平和親善を

枚方市日本中国友好協会
会長 山中 卓



明けましておめでとうございます。

日中関係が冷えこみ、何となくぎくしゃくしている2013年の年頭です。

お互いにあわてず焦らず、ゆっくりと着実に情熱を持ち、両国の互惠を保ちながら、日中交流の回復・平和友好の協力関係を子々孫々の代まで続けたいものです。

枚方市日中友好協会では、設立以来上海市との友好交流を積み重ね、さらに上海市長寧区との友好都市提携は、文化・教育・経済・スポーツ・芸能など幅広く友好親善交流をし、多くの成果をあげてきました。

にもかかわらず、両国関係はひびの入った状況で息苦しく、せっかくの財産の流出です。今、望まれることは民間交流の積極性と思い、日中友好の道をさらに前進させるよう貢献しなくてはと感じています。

昨年、枚方市日中のメインプランで第38次訪中団を組織し、親善交流の出発寸前、残念ながら中止とせざるを得ませんでした。

その代わり、関西外国語大学(枚方市にあります)の中国語専攻生・中国留学生と枚方市日中との交流会は大成功を収めました。関西外大の理事長谷本先生、大阪府日中谷井昭雄会長を迎えての中秋名月祭

は枚方市日中の特殊事業かも知れません。本年もこれは絶対に開催しなくてはならない事業と考えています。と共に若い会員の勧誘に成功すればとも考えています。もう一つの新たな事業として「淀川くんだり」に取組めたらとも考えています。

本年も当協会へのご指導、ご協力をお願いし、大阪府日中のますますのご発展を祈念します。

一日も早く 日中関係の改善を

岸和田市日本中国友好協会
会長 中村 良明



昨年一年を振り返ってみますと、中国と日本が今ひとつギクシャクとしています。残念でなりません。一日も早く平和な友好ができることを願っています。

昨年は岸和田市と当協会で、姉妹都市の上海市楊浦区に行く計画でしたが中止になり、残念でした。

当協会も高齢化が進み、新会員の入会がないのが現状です。早く日中間が平和になってくれることを願っております。

今の状態が改善されたら、今年の秋ごろに訪問したいと思います。これから日中関係がどのように進んでいくのか不安です。一日も早く改善されることを願わずにいられません。2月の泉州マラソンに楊浦区、汕頭市が参加してくれることを願っています。

これから当協会も大変厳しい局面になるでしょうが、楽しい日中、仲よし日中、明るい日中にしていきたいでしょう。

今年はいい年であることを願っています。

ぶれることなく 草の根交流を進めたい

阪南市日本中国友好協会
会長 明石 啓



残念ながら、およそ正月ムードとは程遠い状況、霧囲気のなかで新しい年を迎えることになりました。

はっきり言って、今回の事態に対する中国政府、日本政府はもちろん、(公社)日中友好協会の対応には納得できない点が多々あります。同時に、一部の人たちやマスメディアによる極端な反中キャンペーンに影響された世論の動向にも大いに違和感があります。

その影響が民間交流にも及び、当協会が本年度のメイン事業に位置づけしていた、中国の小学生を招いて当市の小学生と交流する2件の計画がキャンセルとなりました。若い世代を中心とする草の根交流を志向する私たちにとって大きな痛手でした。

ことは領土問題ですから、国家間での問題の解決にはまだまだ多くの時間が必要でしょうが、この事態が両国そして両国民にとって望ましい状況でないことはいうまでもありません。

さまざまな困難が予想されますが、けっしておそれることなく、ささやかな力ではありますが、可能な限りの市民交流を模索、継続していきたいと思っています。

吹田市日中は友好活動を 更に進展させます

吹田市日本中国友好協会
会長 高津 昇



新年あけましておめでとうございます。

昨年は日中国交正常化40周年という節目の慶祝年でありましたが、9月10日に日本が尖閣諸島の島嶼を買い取るということに端を発し、両国間で対立現象が起きました。40年前、当時の田中総理、周総理の間でこの島嶼問題はのちの時代の人たちに譲り今は棚上げしましょう、ということで合意をしました。次の鄧小平氏の時代にもこの方針が引き継がれ、時を経てきました。しかし、よりによって40周年の節目の年に互いの領土を譲れないという対立構造が出来てしまい、これが原因で残念な事象が発生しました。それは中国国内での反日デモであります。さらに日本製品の不買だけにとどまらず、平和堂、イオンなどの日系スーパーマーケットに破壊行為や商品の持ち去り行動が起きました。同時にトヨタ車をはじめ、日本車を破損暴力行為が発生してしまいました。まことに残念な出来事です。このような行

動は私たちが受け入れることは出来ませんが、反対に、フトこの行動をとった中国の人に憐れみを感じてしまいました。

日常の日中友好交流を通じて知遇を得た中国の友人からは想像のできない出来事だったからです。平和と友好の笑顔で交流してきた中国の友人たちからは無縁の事態でありました。このことに出会った時に感じましたが、国と国には譲れない領土の問題がありますが、この問題を了解の域に持ち込むには両国が外交努力を積み重ね、その糸口を掴むべきだと思います。

私たちは、間違っても厳しいメッセージを発する人たちに、軽々しく乗せられてはいけません。日本だけが、中国だけが正しい、そして素晴らしい、といった排外主義的な思い上がりの愛国者になってはいけません。私たちは今日まで築いてきた友好交流の道をひたすら歩むべきだと思います。

吹田市日中には“慣習、前例にとらわれず未来を目指した独自性のある友好交流の道を歩もう”という理念があります。道は険しくとも私たちは変らず訪中をはじめ多彩な日中友好行事を企画しております。特に本年は友好発信を増進させて協会活動をしてまいります。

享受和平是我的權利！

アジアの同胞として 平和的な解決を

高槻市日本中国友好協会
会長代行 柿原 勝彦



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は日中国交正常化40周年という記念すべき節目の年ではありましたが、昨年9月の日本政府による尖閣諸島国有化を巡り、日中関係が極度に悪化し、予定されていた催しが中止になったり、延期になったりしながら、両国の関係修復の機運が見えていません。

このような現状の中、高槻市日中友好協会は創立30周年並びに中国・常州市と高槻市との友好都市提

携25周年を迎え、役員そして会員の皆様が一致団結してそれぞれの記念事業に取組まれ、昨年6月9日には「記念祝典と祝賀パーティー」「中国民族音楽祭」「日中友好茶会」「30年の歩み写真展」等を開催し、中国総領事館、府日中友好協会、近隣の日中友好協会、地元各界から多数のご参加を賜り成功裏に終了することができました。

また、10月には訪中団を組んで常州市で式典を予定しておりましたが、止む無く中止となりました。幸いにも7月に常州市から高校生20名程が来日、地元にある「府立槻の木高校」で同世代の生徒たちが音楽・スポーツ・学習ディスカッション・クラブ活動等を通じて、お互いに将来の夢・希望を語り合い、短時間でしたが皆な同じアジアの仲間という実感を持ってくれ、真の民間交流が出来たと嬉しく思っています。

「どこに住んでいようとも、同じ人間ということに違いはない」

国と国の問題は難しく、足して2で割れるものではありませんが、世界的にも発展してきた両国が、時間をかけて歩み寄り、二度と過ちを起こさないように、アジアの同胞として平和的に解決していくことを望みたいものです。その事が広く世界平和にも繋がるものと願っております。

今年も皆様には幸多き一年でありますように……。

新年を迎えて

熊取町日本中国友好協会
会長 武内 孝之



明けましておめでとうございます。

昨年は色々ありましたが、ここは気持ちを新たに、淡々と日常活動を続けていく以外にないものと思われまます。

当協会では、今年度の活動として、以下のよう計画しております。1月12日(土)「杜甫一風になった男」というテーマの講演会、2月3日(日)春節餃子パーティ、3月9日(土)「現代中国の文字について—簡体字とピンイン—」というテーマの講演会、4月7日(日)花見旅行(難波宮跡)、5月11日(土)

および6月8日(土)外部講師による講演会、7月7日(日)第18回総会、講演会および懇親会。

大阪府日中および各地区協会の皆様、今年もご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年後半の活動のあらましを事務局の有岡がご報告します。

9月7日には「あの大勢の登場人物、人間関係、すっかり忘れてしまった。慌ててあらすじを読み、系図を作った」と準備して臨んだ元文学少女も満足の林敦子氏による『紅樓夢』～賈宝玉・林黛玉・薛宝釵について～の講演会を実施。

9月29・30日万葉のふるさと「飛鳥」を訪ねる秋の一泊旅行。実り間近の稲田の黄色と畦道に咲く曼珠沙華の延々続く赤の対比の美しさの中を「伝飛鳥板蓋宮跡」「飛鳥寺」「万葉文化館」等を見学。二日目は、台風の影響で「高松塚古墳」見学のみで日程を切り上げて帰阪するも、見どころは見学できたので満足の旅に。

10月13日武内会長による『日中関係から読む万葉集』(2)大陸文化と中国文学の影響についてお話いただく。

11月3・4日町民文化祭に出展参加。毎回油絵をお描き下さる七里弘初代会長がご入院。一日も早くお元気になれますことをお祈りしております。鈴木修氏が2点お出しくださり、何時もの華やかさを添えていただく。

12月9日恒例の忘年会を「ベストウェスタンホテル関西エアポート(旧日根野ステーションホテル)で行い、一年を締めくくる。

新年のごあいさつ

藤井寺市日本中国友好協会
会長 井関 功



あけましておめでとうございます。

皆様には気持ちも新たに素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は日中国交正常化40周年を迎えられ、そして

11月25日に開催されました、「歌でつなぐ日中友好の架け橋」の会も盛会のうちに終わられおめでとうございます。

日中間には色々と問題もありますが、民間の力で輪を広げていければと思います。

今後も、関係団体皆様の方のご指導を受けながら、市民レベルでの交流を中心に、より一層充実した事業活動を目指して参ります。

最後になりましたが、大阪府日中友好、各地区協会のますますのご発展と皆様のご健康とご多幸を祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年も地域に密着した活動を進めます

大阪三島日本中国友好協会
会長 大友 康亘



新年明けましておめでとうございます。本年も三島地区（茨木市、攝津市）での日中友好活動を役員一同進めていきます。2010年5月に「大阪三島日中友好協会」は、府下14番目の地区協として設立されました。

さて、昨年は「日中国交正常化40周年」の年で、1月6日に役員会と新年会を開催以降1月30日茨木公民館で「中国茶を楽しむ会」、2月19日攝津市コミュニティプラザで「お父さんお母さんの手作り餃子を楽しむ会」を開催し、6月には摂津市の友好交流都市安徽省蚌埠市を友好訪問するなど、友好交流活動を発展させてきました。また、北摂の5地区協会の交流、共同事業にも積極的に取り組み、辻紫岳文化担当理事を中心に府日中の各種行事へ「詩吟と舞踊」による出演、長尾文化担当理事による日中青少年書道展への出品など日中文化・芸術交流を進めました。

特に昨年9月15日～16日の「中秋明月祭」へは北摂5地区協会の皆さんとの共同ブースで「中国茶の物販」を行い、辻紫岳文化担当理事による「詩吟」出演を行うなど、事業を拡大することが出来ました。

残念ながら9月に尖閣諸島国有化を契機に、日中間での政治・経済・友好交流活動が全面的に停滞することとなっていますが、このような大変厳しい状

況にある時こそ、一層の民間による友好交流が必要と考えます。

2013年も、2月の茨木公民館の「手作り餃子を楽しむ会」3月攝津市コミュニティプラザの「お父さんお母さんと子供の手作り餃子と中国銘酒とお茶を楽しむ会」など地域に密着した日中友好交流活動を進めます。併せて、茨木市・摂津市のNPOで活動されている市民の方々との交流、支援と在住中国人留学生、中国人の方々との交流・懇親会開催や【太極拳を楽しむ会】、【中国語講座】開設へ向けて準備を始めます。

どうぞこれからも府下各地区協会の皆様、府日中の皆様の変わらぬご指導ご鞭撻を宜しく願います。共に頑張りましょう！

仏法西還

河内長野市日本中国友好協会
会長 大原 一郎



現在、日中間には尖閣諸島問題が重くのしかかり両国の関係改善の目途がなかなか見えてこない状態ですが、そういう中で対中貿易に携わる方々の苦労は計り知れないと思います。

私もサラリーマン時代、中国各省で開催される商談会に参加した際、商談会場となった宿泊先のホテル内で反日映画の上映が行われたことがありました。

同じ商談会場には日本メーカー以外に当然、欧米のメーカーも沢山、来ていましたので、自分の中で一挙にモチベーションが下がったのを懐かしく思い出します。

そんな時、思わず口にした『仏法西還』の話が非常に役に立ちました。

“日本が中国から受けた最大の恩恵は仏教伝播ですが、仏教は紀元前5世紀ごろ釈迦がインドの沙羅双樹の下で悟りを説いた口述が後にサンスクリット語に表わされ、その後中国の鳩摩羅什が漢語に訳すことに成功したおかげで日本に伝来しました。

特に法華経の翻訳に至っては今までの小乗仏教、大乘仏教との関連性など深淵且つ精緻な桁違いの読

解力が必要だったと判断されます。まさに現代的に言えばスペースシャトルを一人で設計して且つ一人で打ち上げの軌道を計算し地球に戻すくらいの途方もない仕事量に匹敵する作業だったと言えます。だから中国はいまでも日本にとって大恩人の国と言えます。私の名前が漢字であることも私が箸を自由に使えるのも中国文化のおかげです。

釈迦の教えの中に「仏法西還」という予言があります。仏教が生まれて2500年後の今日今度は日本から中国・アジアに様々な文明・文化を還す時が来ました。”

勿論、この話と商談の成功率とは何の関係もありませんが、素直に感謝の気持ちを表したことで欧米の競争相手よりもより親密な人間関係を短期間で作ることができたと確信しました。

民間交流の 原点に戻って考えよう

松原市日本中国友好協会
会長 牛浜 龍男



新年明けましておめでとうございます

日頃は協会運営にご理解・ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

会員の皆様、並びに大阪府日中友好協会の皆様方にはこの良き新年をお迎えのこととお慶びのご挨拶とご案内を申し上げます。

昨年は日中国交正常化40周年の節目にかかわらず、尖閣領土問題でことさら日中間に溝が出来たこととはご承知の通りです、本来ならば平和的な友好関係を目指した友好協会の主旨にもかかわらず絵に描いた餅に過ぎなかった見せかけ交流、これは両国民による平和的な交流を一方的に崩していった中国国民に他ならない、そして中国政府の後押しである強行政策にとっても交流の華に開花が見えてこないような失望感が率直な今の気持ちです。

ここに原点に戻り見せかけ交流団体や紐付き交流団体ではなく、両国民が参画する真の民間人による

交流活動の場を創り、両国民の文化と暮らしぶりを理解する機会をこれからの世代に引き継いで行かなくてはならない、決して自分の知識世界だけで見る事ではなく、異国の知識認識を高め相互理解に取り組む姿勢でこれからの数年・数十年の節目に向かって一歩ずつ次の世代に友好橋を一緒に架けて参りたいと思います。

今の中国の数十民族と日本の単一民族、人と人との出会いやつながり、政策や社会制度の違いでそう簡単ではないと思いますがお互い出来る事から学び得て、理解しながら隣国であるアジア圏を含む良き隣人として豊かな生活と平和を民間外交として両国民が良き理解者にならなければならないと願っています。

この事は両国民の我々が友好関係に触手を延ばし、子々孫々へと引き継ぎ、歴史の紐を解きわだかまりに時間を掛けて相互理解へと歩む事であり実力行使の暴力ではなく理論的な理解を示すことを前提とした提案を望んでおります。

そして、民間人同士の人的交流・文化交流を基に友好活動団体であることを願い、政治家や企業家の皆様にはより一層の後ろ盾とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

又、ご案内と致しまして松原市日中友好協会では日中友好を願う先人達を偲び、新年の春節祭にちなんで神戸南京街の散策と、新春の桜開花に京都嵐山へ観光と周恩来氏の記念碑に出掛ける活動計画を予定致しております。

どなたでも参加自由ですのでお友達をお誘い合わせして語り合いながらご一緒にご参加同行致しますませんか？

最後に皆様方にとって今後のご活躍とご多幸とともに今年が実り多き良き一年になりますように心からお祈り申し上げます。

友 誼 交 流 レ ポ ー ト



神戸・京都・大阪3大学の 蘇州シンポジウムに

谷井会長が出席、さらに上海も訪問

池田泉州HDが主催、当協会も後援して、上記3大学と学術交流協定を締結する中国の主要5大学の著名研究者によるシンポジウムが9月6日に蘇州で開催された。当協会からは谷井昭雄会長が来賓として祝辞を述べた。このシンポジウムの詳細は10月22日付の日経新聞で紹介された。

谷井会長は、9月7日には上海で上海市経済団体联合会、上海市人民对外友好協会との協議を行い、その後上海魯迅紀念館を訪問し、交流を深めることができた。



上海市人民友好協会汪小淵副会長、日本処の皆さんとの昼食会



上海魯迅紀念館にて樂融副館長、瞿斌主任から説明を受ける谷井会長

大阪城公園で

日中国交正常化40周年記念植樹式



記念石碑を挟んで（左から）谷井会長、曾昇龍会長、于淑媛副総領事、大阪市西子正理事



植樹をする谷井会長と大阪華僑総会曾昇龍会長

9月10日、大阪城公園内日中友好記念の狛犬前にて、主催・大阪華僑総会、共催・当協会による記念植樹式が開催された。

谷井会長は「人と人との交流を進め、両国の関係をいい方向へ進めていくことが大事だ」と挨拶をし、狛犬の周辺に、しだれ桜1本と百日紅3本が植えられた。また、「中国と日本の平和と友好を願って」と題して、大阪華僑総会と当協会の名前を刻んだ石碑が設置された。

「中秋明月祭 大阪2012」

上海少年少女雜技団 大好評の演技を披露 府日中 初出展で地区協会と合同ブース

第4回「中秋明月祭 大阪2012」が9月15日(土)～16日(日)に史跡難波宮跡で開催され、1万9千人の来場者を集めた。当協会も初めて主催団体の一つとなり、4区画を確保して初出展となった大阪府日中合同ブースでは、堺日中、北摂5地区協会が参加して物販にも取り組んだ。雨にもたたられ、2日目は朝から総出で排水作業を展開するなど多難な面もあったが、心を一つに力を合わせ乗り切ることが出来た。



上海少年少女雑技団の公演の合間にインタビューを受ける谷井会長



◀上海少年少女雑技団の息をのむ演技



大阪府日中合同ブースで地区協会の方々が物販にも取り組む

中国からの芸術団が複数、急遽来日できなくなった等、問題もあったが、上海市人民対外友好協会の

絶大なるご協力を得て招待した上海少年少女雑技団の公演は、聴衆を魅了し、大好評を博した。

豊中市日中のお世話で 日中友好親善ゴルフコンペ

10月23日、今回で第14回目となる日中友好親善ゴルフコンペを豊中市日中友好協会のお世話で、アートレイクゴルフ倶楽部で開催。谷井会長を含む28名が参加しました。

このクラブは壮大で端麗、日本庭園とコースが調和した、優雅な絵画を思わせる熟成の18ホールなのですが、この日はあいにくの豪雨でハーフで終了となりました。ただ、今回は中国駐大阪総領事館から劉毅仁総領事と牛興茂領事、趙大為領事及び殷達奇領事の4名が参加してくださり、プレイ終了後は充実した懇親会となりました。

今回の優勝者は枚方市日中友好協会から参加の森分最さんでした。

次回は桜の花が咲くころ高槻市日中友好協会の担当で行うことが予定されております。

次回も多数ご参加いただけることを期待しております。



全日本中国語スピーチコンテスト 大阪府大会



出場者と審査員の皆さん

当協会主催の第30回全日本中国語スピーチコンテスト大阪府大会が、中国駐大阪総領事館、大阪府、大阪府教育委員会、関西・大阪21世紀協会の後援を受け、10月28日、大阪スカウト会館3Fの会議室で開催された。

戸毛敏美副会長が当協会を代表して「がんばってください」と開会のあいさつ。

出場者は13名、審査員は西川和男（関西大学外国語学部教授）、胡士雲（四天王寺大学准教授）、馬贊（中華人民共和国駐大阪総領事館 教育室領事）の3名、応援団も入れて総勢約40名。

結果は、朗読の部では、道野咲さん（帝塚山学院大学）、吉田佳代さん（社会人）、スピーチでは、一位佐伯直哉さん（摂南大学）、2位北村俊一さん（摂南大学）、暗誦では、丸山礼紗子さん（神戸市外国語大学）が各々受賞した。

1月に東京で開かれる全国大会には、佐伯直哉さんが出場することになった。健闘を祈ります。

2012年関西ブロック女性交流会を 大阪で開催

本年の関西ブロック女性交流会は、大阪府日中友好協会が担当し、10月30日に大阪府池田市で開催されました。出席者は2府4県の女性委員26人（内大阪府13人）と大阪府日中友好協会林理事長、そして来賓として中華人民共和国駐大阪総領事館から副総領事孔多孜・玉素甫様とアタッシュ胡元元様をお迎えし、総勢29人が参加しました。

先ず最初に池田市にある久安寺、関西花の寺12番霊場に到着。ご住職の案内で、境内の本堂や名庭を歩き涅槃堂に達し、聴聞行や詠歌行を体験しました。その後、伏尾温泉不死王閣に移動。実原副委員長の司会で懇親会が進められました。開催代表として川上委員長長の挨拶にはじまり、来賓の孔多孜・玉素甫副総領事のご挨拶を頂き、次いで林理事長の挨拶及び乾杯の音頭により、なごやかに会食がはじまりました。次いで第3部の交流会議は各府県参加者紹介

と活動報告がありました。現在の日中関係が冷え込むなか、今まで以上に努力し民間交流を末長く維持していくこと、そのためには平和を愛する女性の目線を大切にしていくことを確認しあいました。次期開催地の和歌山県の紹介があり会議は終了しました。そして今回の交流会の締めくくりは天然ラジウム温泉入浴です。総領事館のお二人もご一緒に入浴され、皆様心身ともに癒され、リフレッシュしてお帰り頂けたでしょうか。

終りにこの誌上をお借りし、池田市日中友好協会の役員の方々にお世話になったことを心から感謝申し上げます。（女性委員長・川上 和）



孔多孜・玉素甫副総領事と胡元元アタッシュを囲んで

「歌でつなぐ日中友好の架け橋」

多くの参加者が集まり大盛会

11月25日(日)に当協会の主催による「歌でつなぐ日中友好の架け橋」の会が約230名の参加者を集めて太閤園で開催された。

3部構成で、まずは主催者を代表して、谷井会長からの挨拶があり、第1部は作詞家もず唱平氏(当協会相談役)から「歌でつなぐ心の架け橋」と題しての記念講演があり、音楽著作権についての興味深

いお話や、中国残留孤児の育ての親への取材に基づく話と歌の紹介があり、高橋樺子さんが歌を披露された。

第2部は日本と中国の伝統芸術、歌や踊りの公演で、新大阪岳風会の辻紫岳さん、塚脇岳邑さんの詩吟から始まり、中国の若手5人の男女による歌や踊り、変面などが披露され、満席の会場は大いに盛り上がった。

第3部は会場を替えての懇親会にうつり、林昭嘉理事長からの挨拶に始まり、来賓の総領事館から于淑媛副総領事、殷達奇領事や大阪華僑総会、大阪市、

歌でつなぐ日中友好の架 NPO大阪府日本中国友好協会



谷井会長のあいさつ



もず唱平氏と高橋樺子さん



辻紫岳さん



ウイグル歌舞の公演



変面に沸く会場

留学生代表の方々の紹介、参加して頂いている14団体の紹介の後、小田眞弘副理事長から乾杯の発声があり、会場は公演に出演された皆さんも参加しての特別公演や太極拳のチャンピオンによる演武の特別披露などもあり、終始和やかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごすことができました。



左から ジャミラ・ウライム、劉偉、ニジャット・ウメル、柳傑、江玉さん



ぎっしり埋まった会場



来賓の紹介

きびしい状況の昨年9月に開催 第16回日中友好麻雀青島大会

尖閣諸島領有権の問題で反日デモがいちばん激しい中、昨年9月16日から17日、青島市で麻雀大会を開催し、19日に帰ってまいりました。日本の新聞やテレビでは我々が訪中の14～19日は、山東省の青島市が最も反日デモの激しい所だと報道されていたと、帰国して家族や麻雀連合会関係者から聞かされました。しかし、街角に公安のパトカーや警察官が少し多かったように感じたものの、我々が行動した市内や観光地はいたって平穏で、麻雀大会も観光もほぼ予定通り行いました。

22名の団体で動くので、念のため青島空港に着いた日にまず青島の日本総領事館を全員で訪問し、総領事に面会して、青島での麻雀大会や観光についての注意点を伺い、総領事からいろいろと注意点を話していただきました。

その後青島旧市内を観光、翌日は青島湾クルーズの観光船に乗りました。霞がかかった天候でしたが、いろいろな形の高層ビルが建ち並び、太陽の光で輝いていました。昼からは青島ビール工場の見学。昔の製造工程を見学し、ホップの強い生ビールや癖のない美味しいビールを試飲しました。

この日は青島市を表敬訪問する予定でしたが、日中関係の状況を見て、市幹部が友人として我われのホテルに来られ、会議室で青島市訪問の歓迎を受けました。

翌日、試合会場が大きな会場から個室が沢山ある会場に変更され、開会式もなく組み合わせ通りに各部屋に入って試合が始まりました。その翌日と合わせて7番勝負が無事終了、表彰式は海鮮料理店で行わ

れました。昨年下見をして予約をお願いしていた大変きれいなレストランでした。青島ビール工場から生ビールが3樽持ち込まれ、ワタリガニ、車エビ、幻の深海魚と食事も酒もとても美味で、楽しい晩餐会になりました。

日中関係が大変な時期に何事もなく楽しく交流麻雀大会ができたお礼を申し上げ、来年は大阪で再会しましょうと約束しました。

成績は日本の最高が白石さんの8位、交流戦は日本の1勝15敗でした。負けるのは最初から分っていましたが、もう少し善戦できるかと思いきや、やはり青島の選手は強かったです。

来年は必ず「青島の敵を大阪で討つ」つもりです。
(顧問・大阪麻雀連合会理事長 木下裕章)



海鮮料理店での表彰式

叙勲・受賞おめでとうございます

○叙勲

旭日双光賞 副理事長 小田真弘さん
旭日双光賞 評議員会副議長 松島弘子さん

○大阪市民表彰

産業経済・消費生活功労
副理事長 日根野文三さん

計報

嵐田萬寿夫氏 参与

10月6日逝去 享年91歳

大津 静夫氏 協会創立時から関係した会員

8月26日逝去 享年99歳

謹んでご冥福をお祈りいたします。

奈良で関西ブロック交流会議 開かれる

来年は大阪で開催!

関西ブロック交流会議が10月20日(土)奈良市の春日ホテルで開かれた。大阪からは、林昭嘉副会長・理事長、田中潤治副会長、堀田雄一、大藪二郎2副理事長、藤井秀幸事務局長、長谷川由子理事の6名、京都2名、兵庫2名、和歌山2名、奈良6名、滋賀2名の2府4県の代表20人と(公社)日中友好協会の村岡久平理事長が出席した。

開催地を代表し、辻井誠行会長が開会を宣言し、ブロックの林昭嘉・代表委員長があいさつ。つづいて村岡理事長は、「厳しい状況のなかで、皆で知恵を出し合いましょう。来年は神戸市と天津市の友好都市締結40周年でもあり、関西から活発な動きを期待する」と述べた。

会議は、各府県協会が活動を報告し、来年は大阪



村岡久平理事長のあいさつ

で開催することを決めた。

その後の懇親会には、駐大阪総領事館から、コンドス・ユスフ副総領事と胡元元アタッシュェが出席、和やかに懇談した。

MY OPINION

学習講座がほしい

かつての日中友好協会は、形式や内容に違いがありますが、常に学習会を持ち、当面の情勢について意見交換や意志一致を図っていました。近年では大阪府日中の場合学習講座として「中国文化フォーラム」や「友好塾」があり、一つのテーマで講師の話聞いた後、出席者が質問して講師に答えていただいていた。文化フォーラムや友好塾の場合、政治的というより文化的なテーマが中心だったと記憶しています。

私たち日中友好協会は、日本において日本と中国との友好交流を促進していくための民間団体です。その立つ位置は、政治的にはどこにも組みせず、もちろん「中国べったり」でもなく、良いことは評価するが悪いことは評価しないスタンスです。ところが現在の日本のマスメディアの中国報道は意識的・意図的にさまざまな事象を面白おかしく、半ば中傷的に取り上げ、ともすれば日本の国民を中国嫌いにさせる要素で満ちあふれています。



「池田市日中」との25年に想うこと

1988年の秋、訪中団の一員として初めて中国の大地を踏んだ。夜、ひとりで北京の街を歩く。暗い通りに人影はない。とある四つ辻の角に蕎麦の屋台が出ていた。客はいない。傷だらけのテーブルの上に、人待ち顔の裸電球が一つぶら下がっている。「你好」若いいなせな兄ちゃんに声をかけて床几に腰を下ろした。「你好」と人なつっこい笑顔が返ってきた。人差し指を立ててオーダーをだす。1分も経たないうちに、兄ちゃんがニヤッと笑いながらワンタンの大きな鉢を差し出した。

中国のお客が気を悪くするくらいの大盛だった。清潔とは思えない箸をとってつゆをすすする。旨いとは云うべくもないが、半分は食べないと義理がたたない。相手は義を重んじる民族だ。ようやく半分ほど平らげて顔を上げた時、驚いた。いつの間にか周りを10人ほどの男たちが取り巻いている。日本人を見るのが初めてだったようだ。危険は感じなかったが、長居は無用だ。「謝謝」と立ち上がったとき、みんなの眼が優し

このような状況ですから、私たち大阪府日中の会員が中国のことを正しく知る機会がいっそう大切になります。この意味においても、文化フォーラムや友好塾のような「学習講座」の復活を切に望むものです。

府日中と地区協会の連携強化を

会員増強のためには、新会員獲得はもちろん大切なことですが、転居などで会員を辞められる場合には必ず転居先を知らせてもらって、転居先の日中を紹介してその会員になってもらうことが大事だと思います。

地区協会員の場合なら、転居先に地区協会があればその事務局を紹介する、なければ最も近い地区協会を紹介するか府日中直属会員になってもらう、などです。

また、他の地区協会の所在地に友人、知人、親戚などがいれば、お互いに紹介し合って入会を勧めることも大切でしょう。そのためには、府日中事務局に各地区協会の入会案内を常備することも必要だと思います。

(参与・野村明信)

く笑っていた。私も微笑んでいた。私にとって“日中友好”の原風景である。

「池田市日中」は活力に溢れていた。会員は事務所に集まって中国を学び、蘇州の物産展など多彩な企画に話が弾んだ。幹部は来日の要人を自宅に招いて歓待し、会員は留学生を自分の子どものように可愛がった。300人の会員の胸は、ロマンと夢に膨らんでいた。

あれから25年が経過した。定型化されて干からびた年中行事が、回転ずしの皿のように無表情に流れてゆく。行事の参加者の減少は止めようもなく、昨年のバスツアーは最少催行人員を割って中止となった。幹部は上部団体に忙しく、会員の足は事務所から遠ざかる。対話を欠いた組織の活力は細ってゆく。そして両国の政治の風圧の狭間で口を閉ざして、内外の信を損う。いま、会員は往時の3分の1に激減した。その責任の一端を痛感している。

華やかでなくてもよい。急ぐ必要もない。指先から採み出すような温もりのある地道な活動を、愚直に続

けるだけだと思う。組織の活力と信頼の回復に、みんな
で努力したい。その上で、次の施策に取り組むことを
提起したい。

- 1) 身の丈に合った手作りの楽しい行事を工夫し、資
源を大事に使う。
- 2) 内部の対話を盛り上げて、組織と活動の透明度を
深める。
- 3) 人事の淀みをなくして、若い人(新しい人)に仕
事をしてもらう。
- 4) 価値ある情報の発信力を高めて、内外の協賛、支
援を得やすくする。
- 5) 中国の人士とすすんで交わり、自分の日中友好を
見つける。
- 6) 会員は、市内での購買を心掛け、商店は会員への
サービスに努める。

蘇生可能な体力のある間が勝負である。「池田市日
中」は、今年度から新体制がスタートした。新春を迎
えて、決意を新たにしている。

(常任理事・池田市日中常任理事 佐伯行昭)



*新しい欄を設けました。日中友好活動や協会運営の
ありかたなどについての建設的な提言、ご意見をお
待ちします。

青年部メンバー募集!

中国好きの方、中国語を学習している方、在日
中国人・留学生との交流などに興味のある方、青
年部メンバーになりませんか。学生、在日中国人
の方も大歓迎です!

みんなで楽しく、日中友好交流活動に参加しま
しょう!!

- 対 象：若い方
- 資 格：日中友好交流に関心があり、青年部活
動に参加可能な方
- 会 費：年間 3,000円
(※一般会員年間 12,000円のところ)
- お問合せ・お申込み
NPO大阪府日本中国友好協会
大阪市天王寺区大道5丁目4番6号 大阪スカウト会館2F
TEL: 06-6770-0080
E-mail: jcf@mail.infomart.or.jp

2013年 新春互礼会 ご案内

- 日 時：2013年1月17日(木)
14:00～15:30
- と ころ：ホテルニューオータニ大阪
2階「鳳凰の間」
大阪市中央区城見1-4-1
Tel 06-6941-1111
- 会 費：5,000円 (当日申し受けます)
- 主 催：NPO大阪府日本中国友好協会
Tel 06-6770-0080
一般社団法人日中経済貿易センター
Tel 06-4704-2511

■入会のご案内

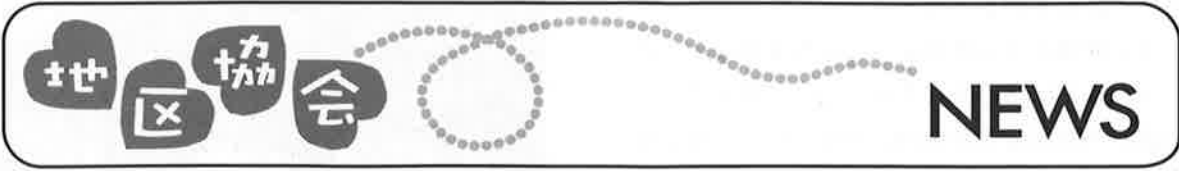
あなたも協会の交流活動に参加しませんか。機
関紙のお届け、各種行事ご案内、中国語受講料割
引など特典もいっぱいです。みんなで日中友好の
輪をさらに大きく広げましょう。

- 会費(月額) 個人(1口 1000円)
団体(1口 2000円)
法人(1口 5000円)

編集部から

会員の皆さんの多大のご協力で「日中国交正常化
40周年記念特集号」を出すことができたことに日
中両国関係が暗転、衆議院選の結果がどのように影
響していくかも予断を許しません。

その中であって、多くの寄稿者の方々から前向き
のご意見をいただいたことには、大いに意を強くし
ました。悲観せず流されず、冷静に大局を見ながら、
民間交流を進めていきたいものです。今年もよろし
くお願いいたします。(志)



堺
目
中

中秋明月祭と 地元での催しに展示出展

7月25日、泉州地域の日中友好協会～岸和田、阪南、熊取、堺～の4協会で、今年度の連携活動等について話し合った。一昨年、この4協会合同事業として「周恩来と日本」写真展を開催して以来、各協会の事業への役員同士の相互交流はありましたが、今後一般会員の幅広い交流を促進することで一致。とりあえず、各市の実態を知ってもらうことから始めることとなり、まず堺が「中世の自治都市」象徴的遺構である環濠をめぐる事業を計画。13年春、桜見物を兼ねた環濠クルーズに各協会会員の参加を募ることになりました。

また9月に開催の中秋名月祭への協力についても協議、当日は岸和田だんじり祭りとかち合うことと、必要な準備期間が取れないことから、今回泉州地区協会としては事業参加できないが、会員の参加増のため勧誘に努めることなどを決めました。

堺では、友好都市提携を行っている中国・連雲港



インピカで活躍の柳先生

市の紹介タペストリー展示と協会活動紹介の機関紙配布を府日中協会借り上げブースの一角でおこない、祭りの当日は当番役員を派遣した。15、16の両日は急に雷雨があり、排水作業に追われたが、当協会主催の中国語教室受講生らも多数参加し、大いに友好の実を挙げました。

10月28日には、この中国語教室メンバー中心に、堺市役所前広場で開催された民間国際交流団体主催の「インターナショナル・ピープルカーニバル」に宣伝ブースを出し、会員の手作りの品販売のほか日中友好活動のPRパネル展示、中国語クイズなどで多くの人たちと交流でき、民間の国際交流は草の根的に根強い実態があることを実感できました。

(会長・曾我部篤爾)

岸和田市
目
中

基礎医学講演会を 開催

9月30日(日)岸和田市中央公民館にて、大阪大学医学部において公衆衛生の研究、指導をされている高木康博先生を講師に迎えて「暮らしを支える基礎医学」の講演会を開催しました。

高木先生は3歳の折中国からご両親と引揚げてこられたので、中国には一方ならぬ思いがあり、岸和田市日中に参加、活動されております。

福島原発事故による放射能問題から動物による新型の感染症まで多岐にわたり、とても興味深い内容

でした。

3・11以来、気になっていた放射能(セシウム)の大阪府下への降下量は、公衆衛生研究所の観測データによれば、チェルノブイリ原発事故と比べると6分の1で、また短期間で事故以前の値に戻ったとのことでした。しかし、福島原発事故で生じたさまざまな問題を考えると、大阪が安全だったからと安堵できるものではありません。今後の原発依存の進行を、深い関心を持って見守らなければなりません。

地球温暖化により、動植物の生態系が変化し棲息範囲が北上しており、従来日本にはなかった動物、植物などの外来種が増えており、動物による新型の感染症も発見されています。

また、人間の往来が国境を越えてグローバル化し、それに合わせて風土病であったものが世界中に

広がりつつあるとのこと。

ますます複雑化する感染症などから身を守るためには、生理学や医学に身を委ねるだけでなく、正しい知識と予防対策を積極的に学んでいくことが必要と思いました。
(理事・日高ハル)

恒例のみかん狩り 今年では会員中心で

11月3日の文化の日、岸和田市内のみかん農園「洋光園」において恒例のみかん狩りを行いました。この日は、好天に恵まれ最適のみかん狩り日和でした。今年のみかんは夏場の水不足により、去年より小ぶりですが甘みは適度のように思いました。

岸和田市日中では、例年中国駐大阪総領事館の方をみかん狩りにご招待しておりますが、今年は尖閣諸島の問題があり、万一の事態を考えて取り止めることといたしました。会員を主体とした参加者は20名足らずの少人数で、例年に比べるとややさびしいみかん狩りでした。

当協会は日中友好を目的とする民間団体ですが、日中両国の政治的問題にまったく無縁というわけに



好天に恵まれて

はいきません。

日中両国は、利害、意見の対立はありながらもお互いに欠かせない関係にあります。私個人の考えですが、こうした折には一人ひとりがしっかりと腹をすえて、それぞれ是々非々の毅然とした態度で臨むことが大切です。

日中両国が利害・意見の対立を乗り越え真の友好国家となることを願って、これからも岸和田市日中の一員として活動を続けたいと思っております。

(理事・川瀬俊治)

高槻市日中

待望の第1号会報を 発行

——その経緯と課題

予てより会員から、協会の活動状況や運営事情が判らない、見えないといった声が寄せられていた。役員の中からも、会報を刊行して周知する必要を説く意見もあった。が、今日までなんの施策も講じず介入もしてこなかった。幸運といおうか、今年当協会が創立30周年を迎えたのを機に、6月の定期総会で了承を得て心機一転刊行することとなった。

未経験なことなので、当初は発行を安易に見通していた。いざ着手してみると色々な課題が続出してきた。いつ、どの程度の規模で、どのように記事を集め掲載するか、書式やレイアウトはどうするか、表題の名称は、サブタイトルは要るか、カラーを使うか否か、担当者は誰がよいか、提供されあふれ出た原稿のどこを如何に圧縮し、あるいはカットするか等々、直面する難題を、逐一相談し協議を重ね解決していった。結果A4判のモノクロで表裏を使用、横書き3列構成を原則に、単に結果報告に留まらず、

判明している事業計画や予定を網羅して年1回10月に。ネーミングは理事会で選定し「高槻日中だより」として発行することに決着した。10月に拘ったのは、年度の前半期の活動・運営内容が周知できることにあった。後半期分は翌年6月の総会で説明・報告する機会があるので、年度途中とした。幸い、前職場で会報発行の経験者やパソコン堪能な理事と共同で、なんとか第1号の発行に漕ぎ着けた。

刊行し、全会員に配布した。反響や講評が気懸かりだった。理事からは左端の綴じ込みスペースがない、会議・会合情報の割付に工夫が欲しかった、将来は年に複数回発行してはどうかなどの感想や提言



会報第1号

があった。会員からは、初めてにしてはよくできているとの反応に手応えを感じた。第1号は、概ね所

期の目的を達成したようだ。当分の期間は、年1回の発行を堅持していく予定である。(理事・笹井 宏)

吹田市日中

留学生120名を招いて 一泊研修交流会を開催

中国人留学生との友好交流、支援は吹田市日中友好活動の大きな柱となっております。

吹田市内にはいくつかの大学がありますが、学内に中国人留学生会が組織されているのは大阪大学、関西大学の2校だけで、残念ですがそれ以外の大学に就学している留学生との交流がありません。しかし2校の留学生は大変な数になります。みなさんとは毎年、春節祭、中秋名月祭、新年会、忘年会、スポーツ交流会を続けております。

なかでも留学生の皆さんが組織づくりをした西日本地区中国留学生学友会との一泊研修交流会は、年々盛大に催されるようになっております。昨年の交流会は、吹田市の協賛、大阪総領事館教育室の後援などをいただき、楽しく有意義に催すことができました。留学生の皆さんは広島、岡山、京都と西から東から参集しました。

“わくわくの郷”吹田市自然体験交流センター借りきりの会場は、吹田市長、王領事、当協会高津会長の挨拶で開幕し、参加した留学生男女120名と当協会20名とで文化交流とメイン行事のバーベキュー



開会セレモニーで挨拶する高津会長、右へ井上市長、王領事



バーベキューパーティー会場

パーティーをしました。

午後9時から入浴、就寝となりますが、吹田の会員5名も1泊を共にしました。翌日の朝食には全員元気にテーブルに着き、楽しかった話題に花が咲き、次回の参加を約束し合いました。会場の規則どおり全員で後片付け、掃除して閉会となりました。

2013年も引き続き開催を計画しております。

(副会長・和田 融)

池田市日中

恒例の 「寒山寺除夜の鐘を聴く」 迎春訪中を実施

2012年の池田市日中友好協会は大きな節目を迎えた。1999年から協会をリードしてきた藤尾昭会長が6月の定期総会で名誉会長に勇退し、前池田市長の倉田薫新会長がバトンを受け継いだ。また、入居していた池田商工会議所の改築計画に伴い、池田市の目抜き通り“桜通り”に面するビルに10月、古巣から移転し新拠点を構えた。

新会長を迎えた秋の理事会で、本年度の訪中旅行

は日中対立のはざ間で延期になったが、寒山寺除夜の鐘を聴く迎春訪中は、名誉会長の「困難な状況にあっても継続することに友好交流の意義がある」との強い意志で、第34回目が決行された。蘇州市外事弁公室副処長・曹静さんのインタビューに、寒山寺方丈・秋爽様と蘇州市宗教事務管理局の担当者は「2013年は寒山寺創建1510年にあたり、例年より大きな規模の開催になる」と言う。

池田市と蘇州市の囲碁交流案は、当協会会員で上海赴任の長谷川松男さんが蘇州市を訪問した時の話題から発展、名誉会長のかつての腹案でもある。協会は年初に、池田市の囲碁団体との友好交流のアイテムになり得るか、実現の可否を図る。

さて、昨年9月11日の尖閣諸島国有化以降、今日

に至る日中間の対峙はかなり膠着した“病状”を見せている。国交正常化40周年を共に祝い記念する年が暗転してしまった。民意の反映で政府が動くと言うが、今回は政府間の対立が交流を望む民意の腰を砕いている。72年に国交正常化の共同声明を発表し、それでも日中間に再三再四の緊迫が続くのは、友好親善の基本に立っていないか、覇権を求めない等とする声明文が生きていないからに他ならない。2005年の時は「政冷経熱」から両国政府が「平和と善隣友好に関するアピール」で事態の收拾が図られた。こういう時こそ賢明な次の一手で、「政冷経冷民冷」

状態を打開する糸口を探るのが両国政府の使命だ。

私見であるが、相手の目と鼻の先にある島を自国だと主張するのは、歴史が証明したとしても、歴史をさかのぼれば戦いの後に奪取したとみるのが自然だ。日本の尖閣諸島や竹島然り、中国の南沙諸島然り、ロシアの北方領土然りである。当事者間協議にしる国際司法裁判にしる、いずれの結論が出たとしても、歴史解釈の相違でしこりは残る。してみれば当時の「棚上げ」は恒久策ではないが、穏便で有効、衝突回避の英知だったと思う。

(事務局次長・大塚寛治)

枚方市日中

「中秋節」月見交流会・「ひらかた多文化フェスティバル」

～「日中民間交流の担い手」として
秋に2つのイベントに参加～



「中秋節」月見交流会 (於 関西外大穂谷キャンパス)

9月29日 関西外国語大学穂谷キャンパス第2国際交流セミナーに於いて、2012年度「中秋節」月見交流会を本協会と関西外国語大学孔子学院と共催で開催した。当日、中華人民共和国大阪総領事館袁自煌領事(教育室長)、大阪府日中友好協会谷井昭雄会長、関西外国語大学理事長谷本栄子氏が来賓として出席下さった。会場入り口にはススキや中国の月餅が飾られ、日中双方の参加者からお互いの文化に対する質問が交された。日本側は「野点や日本舞踊」を通じて日本の文化を紹介・体験していただくコーナー、中国側は「切り紙、唸譜、漢服の紹介」などを体験していただくコーナーを設けたところ、お互いの交流が一層深まり大変好評であった。その後、枚方日中会員、一般市民、関西外大生、中国留学生などの参加者が11のグループに分かれて水餃子などを味わいながら「日中知識コンテスト」に挑戦。正解が発表されると歓声とため息がおこり、終始賑やかな雰囲気包まれた。当初予定した人数をはるか

に超えた約300人の参加者があったことは、日双方の関心の高さのあらわれであろう。

11月24日 第13回「ひらかた多文化フェスティバル」に参加し、中国文化の紹介と中国茶の提供、フリーマーケットなどを行った。これは(公財)枚方市文化国際財団が毎年開催しているもので、枚方日中も準備の段階から参加している。近年ますます増える外国籍の人と枚方市民の交流、互いの文化の紹介などを目的としている。舞台ではフィリピン、マレーシア、韓国、中国、沖縄、アフリカダンス、ハワイアンフラダンスなど各国の舞踊に交じって、枚方市日中が関西外大孔子学院を通じて協力していただいた中国人留学生による「秧歌」「太極拳」を披露した。「秧歌」は中国の伝統的な舞踊で、明るい歌声と可愛い踊りや衣装は見る人を引き付け、中国文化の新たな一面を紹介することができた。

当日は寒風が吹いていたにも拘らず、約3000人(主催者発表)の参加者があった。テント並びにフリーマーケット会場では、会員から訪中時に購入した中国の民芸品や茶器、日用雑貨などを提供していただき、安価で販売して20,000円あまりの純益を得た。

今後も、様々な機会を通じて、日中両国の文化の紹介、交流に取り組んでいきたい。

(担当理事・森田洋子)



「ひらかた多文化フェスティバル」テント内にて会員の笑顔 (於 枚方岡東中央公園)

松原市日中

新春を迎えた
活動計画

皆様、明けましておめでとうございます
さて、当協会では昨年秋の第17回定例総会に於いて、新春の野外活動計画として各提案を絞り込み、春節祭にちなんだ地域での料理交歓会や神戸南京街の散策を毎年交互に開催致しておりますが、今年は神戸南京街の散策に出掛ける予定で具体的な活動計画を只今調整致しております。

その他、新春の活動計画予定として桜開花と共に隣接地域での歴史探訪や、日中友好を願う先人達を偲び、京都嵐山への観光と周恩来氏記念碑を散策しながら語らう交流会を開催したいと考えます。

どなたでも一緒に交流の場にご参加して下さいます様ご案内と賛同者を求めます。



松原市役所1階みんなの広場
活動紹介ロビーに於いて

松原市日中では、今年も地域の市民活動団体と民間レベルでの協力体制を共有しながら協働事業活動を目指し、協会活動を地域の人達に紹介と広報活動して参ります。

又、各地区協会の皆様とも機会がありましたら交流協働事業の開催がご一緒に出来ましたらと思案致しております。

今後ともご指導ご協力を宜しくお願い申し上げます。

—新春便りより（会長・牛浜龍男）

河内長野市日中

「奥河内ぶたまん」
はらはらデビュー

市日中友好協会は昨年から地元の材料をふだんに使ったぶたまん『奥河内ぶたまん』の仕込みを試行錯誤しながら続けています。努力の甲斐あって少しずつ日中のぶたまんの定番として浸透してきたので、今年は勢い込んでイベント現場に蒸籠を持ち込



11月18日市の産業祭の会場にて 蒸籠の第一陣が蒸しあがるところ。まさに嵐の前の静けさ……この後2時間弱で完売しました。

み、その場で蒸しあげたアツアツのぶたまんを10月の高野街道祭り、そして11月の産業祭で一気に販売する計画を立てました。

しかし、9月の末にぶたまん仕込みの司令塔・市日中のM事務局長が左足首骨折（雨漏り修理の作業中落下）。折しも中国国内での過激な反日運動が日増しに報道される時期でもあり、何とか予定通りぶたまんの販売をしたかったのですが、10月の高野街道祭りへの参戦は断念。その代り11月の産業祭にはと意気込んだものの今度は主力メンバーの相次ぐ入院でぶたまんの包み作業をするマンパワーが不足。

満身創痍でママ友パワーをかき集め、3時間半かかって包んだぶたまん519個。サイズも形もいろいろですが、思いを込めた分、皆、大感激。

当日は計画通り蒸籠を持ち込み、蒸し立てのアツアツの手作りぶたまん『奥河内ぶたまん』を販売。昼には519個完売しました！

次は大晦日の金剛登山客向けの販売を計画中。さて、今度はどんな試練が待ち受けているやら……。

（会長・大原一郎）

謹賀新年

今年も 大阪府各地で がんばります

各協会の地図



・・・お気軽にお越し下さい・・・

NPO 大阪府日本中国友好協会

〒543-0052

大阪市天王寺区大道5-4-6

大阪スカウト会館2F

TEL : 06-6770-0080

FAX : 06-6770-0707

Eメール : jcf@mail.infomart.or.jp

